

平成26年度 教育部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策(教育部関係分)

政策 06 子育て・ 教育	政策展開の方向性							
	子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様で変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。							
	平成26年度に向けての展開方針 （方針や重点事業の計画等を記載）							
	06-02 子どもの教育の充実							
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいの有無に関わらず、一人ひとりの個性やニーズに応じたきめ細やかな教育を推進することにより、児童生徒が授業の内容を理解し、確かな学力を定着できるようにしていきます。そのため、平成26年度は全中学校での放課後の補充的学習の実施、外国語活動の小学校3・4年生への拡大、小中学校全学級への電子黒板配備によるICTを活用した教育の充実などに取り組むほか、障がいのある子どもに対する環境整備として、特別支援学級設置校の拡大や学校のバリアフリー化を推進します。 ・心身ともに健康な子どもたちの育成のため、大学などと連携した体力向上プログラムを実施していきます。そのため、平成26年度は大学による出前講座などを通じて、学校での体力向上の取り組みを支援します。 ・開かれた学校づくりに向けて、学校、家庭、地域の連携・協力を推進するため、学校支援地域本部事業を充実させていきます。そのため、平成26年度は学校支援ボランティアの全市的な派遣に取り組めます。 ・安全で安心な教育環境の確保を目指して、学校施設・設備の整備充実を図るため、構造体の耐震化・非構造部材の耐震対策を推進していきます。そのため、平成26年度は校舎屋体の改築実施設計や改築等の工事のほか、屋体の非構造部材の耐震化調査を進めます。 ・様々な悩みや問題を抱える児童生徒への支援策として、不登校・いじめ等の問題行動への対応を充実させていきます。そのため、平成26年度は各種相談体制の充実に取り組めます。 ・地域社会が連携して次代を担う青少年の健全育成を推進していくため、体験活動やボランティア活動等、地域教育の機会を充実させていきます。そのため、平成26年度は体験活動等の実施のほか、育成団体等の連携強化に取り組めます。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	子育て環境が充実していると思う保護者の割合		%	44.6				↑
	教育施策に満足している保護者の割合		%	78.0				↑
	「生きる力」が身についた児童・生徒の割合		%	77.6				↑
	教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「学校教育基本計画」 学校の授業が分かると答えた児童生徒の割合		%	88.7				↑	
政策 07 生涯学習・ 文化	政策展開の方向性							
	市民が生涯にわたって、学習・文化活動・スポーツを気軽に行える場を提供し、市民が心身ともに健やかで充実した生活を営めるようにします。また、長い歴史を持つれんが産業や文化・歴史遺産を通じて、市民のふるさと意識の醸成を図ります。							
	平成26年度に向けての展開方針 （方針や重点事業の計画等を記載）							
	07-01 生涯学習の充実							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設が市民の交流や学習活動の拠点として活発に利用されるためには、施設の整備を通して常に良好な学習環境を提供することが必要であり、計画的に社会教育施設の修繕を進めていきます。そのため、平成26年度は修繕計画の作成に着手するとともに、修繕の実施に取り組めます。 ・生涯学習の各活動団体が自立し、地域で自主的に活動を展開していけることが望ましく、様々な形で活動団体の安定的な運営への支援を行っていきます。そのため、平成26年度以降も引き続き、社会教育団体への公民館施設等の減免などを実施します。 ・市民が生涯学習で習得した知識や技術が地域社会に還元されることが望ましく、市民が社会参画に向けて多様な知識を得るための機会や情報を提供していきます。そのため、平成26年度は四大学と連携した生涯学習講座である「えべつ市民カレッジ」の開催やボランティア情報の提供を行います。 								

07-02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造						
<p>・文化や芸術の振興を図るには、市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や発表の場を提供することが必要であり、活動団体の安定的な運営への支援のほか、計画的に文化施設の修繕を進めていきます。そのため、平成26年度は文化施設の修繕計画の作成に着手するとともに、修繕の実施に取り組みます。</p> <p>・文化財や歴史遺産を調査・保存し、後の世代に正しく継承していくため、展示・収蔵施設の将来展望を整理します。そのため、平成26年度は文化財整理室、旧林木育種場の方向性について、具体の議論ができるよう考え方の整理に取り組みます。</p>						
07-03 市民スポーツ活動の充実						
<p>・社会体育施設は災害時の避難所ともなることから、耐震化を含む計画的改修によるスポーツ・レクリエーション活動の環境整備を図っていきます。そのため、平成26年度は市民体育館の耐震補強工事と併せ長寿命化対策として施設改修を行うほか、大麻体育館の耐震診断を実施します。</p> <p>・スポーツ・レクリエーションについて、幅広い年齢層に対応した活動機会の提供とともに、地域や関係団体との連携による諸支援策を進めていきます。そのため、平成26年度は活動団体の活性化促進に向けた実態の分析・評価に取り組みます。</p> <p>・市民ニーズの的確な把握と情報共有など、体育施設管理団体と連携して体育施設の利便性向上に努め、利用促進を図っていきます。そのため、平成26年度は社会体育施設のあり方の検討に取り組みます。</p>						
政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
生涯学習を通じて心の豊かさを実感している市民割合	%	33.2				↗
文化・芸術活動に参加している市民割合	%	18.3				↗
週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合	%	40.2				↗
教育部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「社会教育総合計画」 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合	%	72.0				↗
「社会教育総合計画」 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合	%	45.1				↗
「スポーツ推進計画」 スポーツ機会が充足していると思う市民割合	%	76.5				↗

2. えべつ未来戦略(教育部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	■1B 大学が活躍するまちづくり 「えべつ市民カレッジ(四大学連携生涯学習講座)事業」(生涯学習課)
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3A 社会全体で子どもを産み育てるまちづくり 「小中学校学習サポート事業」(学校教育課) 「児童生徒体力向上事業」(学校教育課) 「小学校外国語活動支援事業」(学校教育課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 教育部の資源

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	3,060,074	5,288,375			
	特別会計 (B)	0	0			
	合計 (A+B)	3,060,074	5,288,375			
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	106	106			
	平均単価 (b)	8,056	7,824			
	人件費 (a×b)	853,936	829,344			
総額		3,914,010	6,117,719			